

福島県いわき市立湯本第二中学校校長

澤井史郎氏をお招きしての第二回被災地支援・学校防災研究会

避難所運営と 地域との連携

東日本大震災により、福島県いわき市は、地震、津波、原発事故、風評被害等、多重の災害に見舞われました。当研究班では、被災地の教訓から学び、次なる大災害に備えるための研究会を続けております。

そこで第二回目となる今回の研究会では、複合被災において、地震、津波だけでなく原発警戒区域周辺から避難者を受入れ避難所の運営の第一線で活躍された、いわき市立湯本第二中学校校長の澤井史郎氏をお招きして、避難所運営におけるご経験や周辺地域が学校と連携していく役割についてお話を伺います。

また、防災教育／地理学がご専門の、山形大学・村山良之教授をゲストコメンテーターとしてお迎えし、意見交換を行います。学生をはじめ、どなたでも参加出来ますのでご関心のある方は奮ってご参加下さい。

特別講師 **澤井 史郎** 福島県いわき市立湯本第二中学校 校長

Profile 昭和 29 年福島県いわき市に生まれる。58 歳。医学の道を志すが挫折し、東京学芸大学へ入学。卒業後は、理科教師として福島県で教鞭をとるが、特別活動と道徳教育の魅力にとりつかれそれをライフワークとする。震災直後から避難所となった学校に避難された方々と寝起きをともにする。今年度は「与えられる者から創り出す者へ」を学校経営のスローガンに掲げて、教育実践を展開する一方でいわき市の未来を託す生徒たちと共に復興のための様々なボランティア活動に参加している。母、愛妻、二女の 5 人家族。



ゲスト・コメンテーター **村山 良之** 山形大学教授（防災教育／地理学）

日時：平成 24 年

12

月

7

日（金）午後

3

時～

会場：お茶の水女子大学 文教育学部 1 号館 7 階 7 1 1 号室

申込不要・入場無料

主催：お茶の水女子大学 シミュレーション科学教育研究センター
被災地支援・防災 学内共同研究グループ（代表 水野 勲）

お問い合わせ：小田 隆史（内線 6153） Email: oda.takashi@ocha.ac.jp